

青梅市文化財ニュース

第 87号

平成 7年 1月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土資料室

(青梅市駒木町 1-684 Tel0428-23-6859)

文化財指導委員会のあゆみ

☆ スタート、活動の内容、あゆみ

昭和53年1月に発足、17年になる。人数は担当地区、分野が異なる10名。文化財に関する調査、研究、保存、活用にかかわる活動を行っている。連絡、調整等をはかる組織として指導員会を設け、毎月定例会を開き、現在まで通算170回を数えている。

☆ おもな活動

ア. 文化財地図“青梅を歩く”の編集、発行

昭和57年3月31日初版、同60年11月15日2刷改訂版、平成4年3月31日3刷改訂版を発行している。

イ. 広報“おうめ”への記事掲載

昭和59年4月より委員が分担し、原稿を寄せている。当初は“青梅を歩く”で、現在は“青梅再発見”。各月の1日か15日のいずれかに掲載されている。

ウ. 文化ニュースの発行

昭和62年9月より毎月15日発行。現在まで86号に至っている。各委員が分担。郷土博物館、各市民センター、社会教育課の窓口に着置してある。無料

エ. 活動報告書の発行

昭和60年度より発行。本会の年間活動、委員の調査報告、研究論文を載せている。発行部数が少ないため一般には配布していない。

オ. 市内文化財の現地調査

昭和58年9月4日の佐藤塚の調査を初めとして、年間1～2回、現在まで19回実施。

カ. 管外研修

2年に1回実施。第1回は昭和53年5月、宮城県賀城市。以後、倉敷市、秋田市、南木曾町、越前大野市、長浜市、酒田市、佐渡島、小浜市と9回、町並み等の視察を行った
キ. “あいあいハイク”

小中学生の異年齢交流、市内再発見等を目的に青少年委員、体育指導連絡協議会と合同で市内散策会を行っている。第1回は平成元年11月12日（日）宮の平より永山丘陵、天寧

寺、勝沼城を歩き4小で解散、243名が参加した。以来現在まで6回実施されている。

ク. 文化財台帳の整理

平成6年3月現在、市内には132件の市指定文化財がある。そもそも市の指定は昭和28年11月3日に金剛寺ほか13件が史跡、旧跡に指定されたのがはじまり。

しかし、この台帳が不統一だったりして利用するのに不便であることから、昭和63年度より着手した。各委員が分担し、現状を確認、計測、写真撮影を行った。その後、合宿等の研修会で全員で検討し、ようやく平成6年10月にまとまったので、教育委員会あて提出した。今後はこの成果を何らかの方法で公開できるよう考えていきたい

ケ. 準指定物件等の情報の集積

現在まで指定されているもの、江戸時代以前のものが多い。明治、大正、昭和の日本の近代化遺産をはじめ、対応を考えていかねばならないものも多い。明治37年8月に開通した旧吹上トンネル等がそれである。

近時の市内の変貌の著しいことを考えると、リストアップ化をしておき、有効な対応に備えることが必要であろう。このような観点から情報を集積し、指定できるものは指定し、保存、活用を図りたい。

市民の皆さんからのいろいろな情報提供をお願いしたい。

(文責 川鍋)

-
- ・ 青梅市郷土博物館では、企画展「むかしの暖房器具展」を開催しております。

平成7年2月26日(日)まで 入館無料 月曜日休館

- ・ 郷土博物館講座のお知らせ

『青梅街道100年』

内容 「青梅鉄道の開通と石灰石輸送」 立教大学助手 渡辺恵一 氏

「産業鉄道から大都市鉄道への変換」 東京学芸大学教授 青木栄一 氏

日時 平成7年1月22日(日) 午後1時から5時まで

会場 市民会館第4、5会議室

申し込みは郷土博物館まで